

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・渋谷区という都心にある保育園だが、散歩に出ると代々木公園など自然に触れられる公園が多くあり、子どもたちは季節毎に身近な自然に触れて興味関心を深めている
- ・様々な事への探求心が深く、活動への興味を持って意欲的に関わる姿が多く見られる

2. 活動スケジュール

春 散策を楽しみながら身近な植物に触れて楽しむ

夏 夏野菜を育て観察しながら成長の様子に興味を持つ

遊びを通して風の動きや変化に興味を持って遊ぶ

秋 身近な自然物に触れて遊び込む

冬 講師を招いてこれまでの活動を深めながら自然に触れたり、探求を深めていく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・野菜のたね、苗 ・土 ・じょうろ ・スコップ
- ・画用紙 ・色えんぴつ等

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・夏野菜の種や苗を植えて世話をしたり観察や味見をしながら生長を喜ぶ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子どもたちとどんな野菜を育てたいか話し合ってから始めたので、意欲的な姿が見られた。散歩の帰り道などでも野菜をみてから帰ろう！という声が子どもたちから出るほど生長を楽しみにする姿がみられた。

観察画でははじめは何をどのように表現したらよいか戸惑う姿が見られたが、全部ではなく一枚の葉っぱだけでもいいと助言したことで観察して絵に表現しようとする姿が現れ始め、回を重ねる毎に自分達で取り組むようになっていった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日ごとに葉が大きくなり変化していく様子を見ることができ、子どもたちは小さな種や苗の持つ生きる力に触れることができた。

観察画では自分たちで感じたものを描くようになり、色塗りの際は色鉛筆を用意することでじっくり観察し細かい色のニュアンスを捉え表現するようになった。